

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全な生活環境を作ること：ラオンガム郡トンスイ村周辺の土地 207ha を不発弾探査により安全化し住民が安心して農作業に従事できるようにした。 ・ 地域経済活動環境をつくること：事業期間中、土地伐開作業に住民を延 1,928 名雇用した。地域周辺住民にとっては、現金収入が得られ経済活動に寄与した。今後、この土地を利用して日本の会社が生薬を栽培する過程において多くの住人の雇用が生まれ、地域経済が活性化するものと予測される。
(2) 事業内容	<p>農業予定地として面積 207ha、深度 2m の土地を安全化した。安全化した土地からは、爆弾・砲弾の破片 5,299 個、薬莢 1,381 個、弾丸 300 個、金属片 11,140 個を発見・回収したが、不発弾は発見されなかった。</p> <p>実施の概要</p> <p>ア 不発弾の探査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探査地域の測量及び径始 ラオンガム郡から指定があった土地の基点を基にして境界の確認、測量、境界線の啓開を実施 ・ 伐 開 鎌・伐採機により概略の伐開をした後、高さ 10cm 以上ある草・灌木等刈取 ・ 探 査 浅い深度探査(30cm)次いで深い深度探査(2m)を実施 ・ 掘 削 探査により反応があった際は、掘削、確認、除去を実施 <p>イ 啓蒙教育</p> <p>2011 年 11 月 18 日にトンスイ村小学校で 60 名の小学生に不発弾の危険性について教育し、日本から寄贈された物品を配布した。</p>
(3) 達成された効果	<p>ア 事業の達成度（別紙第 1—1：土地の安全化状況、別紙第 1—2：探査終了地域）</p> <p>計画した面積を安全化し、今後この土地での生薬栽培を実施できる環境を整えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地の確保：207ha 中 207ha（土地の取得：211.4ha） ・ 伐開面積：計画 207ha 中 207ha ・ 探査面積：計画 207ha 中 207ha <p>別紙第 4—1 完了報告写真 別紙第 4—2 完了報告写真</p>

<p>(4) 持続発展性</p>	<p>ア 安全化した土地の有効活用</p> <p>安全化した土地は、サラワン県が日本の企業に長期間貸与し、そこに従来作物より付加価値の高い生薬栽培をする予定であり、2011年11月以降、順次、安全化した土地から土地の養生作業を開始している。また、2012年6月からは播種作業を計画している。これらの作業には、多くの人力を必要とするが、近傍の住民を雇用し、これが安定的な現金収入となり、地域の活性化に寄与するとともに貧困の軽減につながるものと、県、郡などから期待されている。また、日本の企業にとっても、品質の一定した原料を比較的安価にラオスから日本に輸入し製品化する事となり安定した操業に寄与できる。さらに、ラオスにとっても原料輸出により外貨収入を得ることになる。</p> <p>イ 不発弾処理技術に関する助言</p> <p>JMAS 不発弾処理専門家による不発弾処理現場での指導や不発弾処理管理上の指導を通して現地スタッフの能力を向上させた。ラオス政府 NRA (National Regulatory Authority) の不発弾処理に関する総合検査を2011年12月6日、7日に受験したが、継続したJMAS 専門家の助言もあり、活動状況には指摘事項はなく(別紙第2:NRAの検査結果)、今後とも自信を持って安全化作業を継続するここができる。</p>
------------------	---